

おokayama いっぽん+ okayama ippon plus

2017年2月
VOL.3

発行：おokayama いっぽん



2016年12月4日「おokayama いっぽん、もういっぽん！衆院選はこうして手をつなぐ。」より

  okayama1pon | [Web Site] <http://okayama1pon.net/>

【 安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めのおokayama いっぽんの会 】

■ 岡山市中区東山 2-14-10 (有限会社 D-mediaCreations 内) ■ TEL : 086-270-5305 / FAX : 086-270-5306

■ e-mail = links@okayama1pon.net

衆院選にむけてスタート

おかやまっぽん、もうっぽん。衆院選はこうして手をつなぐ

衆院解散総選挙を見据え、12月4日岡山ターミナルスクエアビル 12階スクエアホールにて「おかやまっぽん、もうっぽん。衆院選はこうして手をつなぐ」というイベントを開催しました(参加者約100名)。

各野党「一致できる」と発言

開催趣旨は、野党4党(民進党、日本共産党、自由党、社会民主党)各岡山県組織より代表の方を招き、「おかやまっぽん政策会議」(全5回開催)において作成した『市民による政策提案』を手渡すとともに、政策協定に向けてその中身について話し合いを始める、言わば「衆院選のスタート」と位置付ける内容です。



野党代表に政策提案を渡すメンバー

『市民による政策提案』では、

- ① 安保法制の廃止と集団的自衛権の行使を認める閣議決定の撤回
- ② 安倍内閣のもとでの憲法改正阻止
 - ・ 憲法3原則と立憲主義の堅持
 - ・ 緊急事態条項(国家緊急権)反対
 - ・ 「自民党改憲草案」をベースにした改憲議論反対
- ③ 慎重な熟議による民主主義の回復
 - ・ 健全な国会運営
 - ・ 情報公開
 - ・ 報道・言論の自由
 - ・ 国民主権を守る



《参加政党代表者》(右から・敬称略)

民進党岡山県総支部連合会 幹事長 津村啓介
日本共産党岡山県委員会 書記長 植本完治
自由党岡山県総支部連合会 代表 姫井由美子
社会民主党岡山県連合 幹事長 武本恒夫

- ④ 「4野党共通政策(6月7日に既定)」と第190回通常国会において4野党で共同提出した15本の議員立法の推進
- ⑤ 幅広い分野において共通政策を持つ(「人権(ジェンダー)」、「雇用・労働」、「産業振興・地方創生」、「税制」、「介護・子育て」、「教育」、「環境・エネルギー」、「安全保障」)
- ⑥ 政権選択選挙となる衆院選において、政権問題についてしっかりと説明責任を果たすべき

以上の政策案を示し、衆院選において野党が協力するための「旗印」とするとともに、争点の絞り込みが難しい岡山の5選挙区において、経済や社会保障などを含む幅広い論点で共通政策を持つことを求めています。

全国的に最も早く政策提案が成されたわけで、政党中央レベルでの調整もまだこれからではありますが、参加された各政党代表者は、この政策提案についてそれぞれ「一致できる」と発言され、衆院選への期待を強くすることができました。

今後も引き続き市民と野党とのコミュニケーションを続け、いつ衆院解散が行われても、速やかに対応できる体制を整えてまいります。

いっぽんを広げよう

市民懇談会かさねて

衆議院岡山 3・4 区内におけるおかやまいっぽんの動きを創っていくために、倉敷・津山での市民懇談会を開催しています。

グループに分かれて「呼びかけ人を増やすには」「伝わる街宣とは」など議論。熱心な話し合いがもたれ、たくさんの意見が出されました。

今後も各地域での体制づくりに向けて、懇談会を重ねていく予定です。



1月29日、倉敷健康福祉プラザ(参加約30名)



1月13日、津山文化センター(参加約40名)

4野党と共同で街頭宣伝



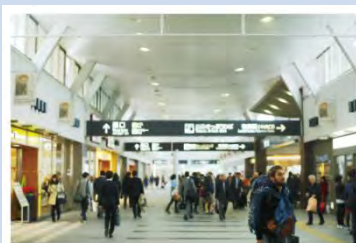
1月28日、岡山駅西口さんすて前(参加約30名)

寒い中ですが、街頭宣伝に取り組みました。

1月15日のリレートーク街頭宣伝に続き、28日には、おかやまいっぽんと野党4党による共同街頭宣伝を実施しました。

それぞれが市民と野党の共闘を発展させようとスピーチ。来る衆議院総選挙に向けて弾みをつけることができました。

★新ポスター完成!



駅と政治

多くの人、車、モノが往来する駅。乗客だけでなく、駅員も駅に心を注ぎ、駅は人々を安全に送迎する。どこに行き、何をやるか。わたしたちの暮らしはここから始まる。

おかやまいっぽん



日常と政治

食卓の上には家族と過ごす時間があります。多岐の分野でも人と人とのつながりがあります。そう、パンケーキが人々を結びます。わたしたちはこの時間をどう過ごしていくべきか?

おかやまいっぽん



均衡と政治

わたしたちはバランス感覚を養っているのだと思う。人は多岐の分野でバランス感覚を養っているのだと思う。その中で、わたしたちが何をすべきか。わたしたちが何をすべきか。わたしたちが何をすべきか。

おかやまいっぽん

1枚200円 3種セット500円 掲示にご協力くださる方は事務局まで

日本国憲法施行 70 年の重みと

安倍政権の「戦前回帰」を止める為に！



連合岡山元会長

森本 榮

(戦争をさせない 1000 人委員会岡山共同代表)

この国の社会に対して希望と不安が交錯する中で、2017 年が始まりました。皆様はどのようなお気持ちで新年を迎えられたでしょうか。

今年はあたかも 1947 年 5 月 3 日に施行された日本国憲法 70 周年の節目の年でもあります。

1868 年の明治維新以降、欧米に追いつけ追い越せと「富国強兵」政策の下、「脱亜入欧」の思想のもとで、アジアへの侵略戦争を推し進めた軍国主義が、1945 年の敗戦によって根本的に否定され「二度と戦争をしてはならない＝平和主義」「主権は現人神(あらひとがみ)の天皇ではなく国民にある＝国民主権」「国家の為の国民で無く人の尊厳を尊重する国民の為の国家＝基本的人権の尊重」と、多くの国民の総意の下に日本国憲法は制定されました。

しかし再登板した安倍政権は、「戦争が出来る国」を目指し、これら戦後 70 年間築き上げて来た憲法の理念を全否定する、極めて危険な戦前回帰の道をひた走っています。私達は、戦前の治安維持法、特別高等警察、国家総動員法、産業報国会、大政翼賛会、そして侵略戦争から敗戦に至る過去の事実を思い起こし、まさに今が 1930 年前後の状況とあまりにも酷似している事に気付かねばなりません。

今私達にとって大事な事は、悲惨な戦争や人権を無視した過去の歴史を直視し、70 年間築き上げてきた日本国憲法の崇高な理念の重みを再確認し、誇りと自信を持って世界に冠たる平和国家として、一人ひとりが生きがいを持って、人間としての尊厳が保障される社会を目指していく事ではないでしょうか。

その為には、次期衆議院選挙が極めて重要であり、安倍政権の 1 強他弱の構造を何としても阻止しなければなりません。その為にも野党 4 党と市民の共闘関係を更に推し進める事が、安倍政権を打倒する現実的な喫緊の行動であると考えます。

皆さん！ 自信とロマンを持って、壮大な歴史的な大行動に立ち上がりましょう。

おかやまいっぽん
なかま紹介



●赤松章子（事務局）

「憲法を守ろう」と声をあげる日が来るなんて数年前まで想像もしなかった。第 21 条「表現の自由」を守らなければ不寛容で攻撃的な社会になってしまう。色々な考えを持つ人達が共通の目的のため集まったおかやまいっぽんは自由な場所です。

●木村周二（事務局）

無党派層、無関心層、政党や政治嫌い層、いろいろな人間が居て欲しいと思います。しかし、自由、平等、平和な世界である事が前提です。だれかが、立ち上がらなければ、人間のめざす未来は切り開かれせん。「いざ、おかやまいっぽんへ！」



《2月の予定》

- ◆企画班会議◆2月5日(日)13:30～岡山県民主会館3階・民医連会議室
- ◆市民懇談会 in 倉敷◆2月12日(日)13:30～倉敷健康福祉プラザエ芸室
- ◆全体会議◆2月19日(日)13:30～岡山県民主会館3階会議室
- ◆市民懇談会 in 津山◆2月25日(土)13:30～津山市コミュニティセンター あいあい大ホール